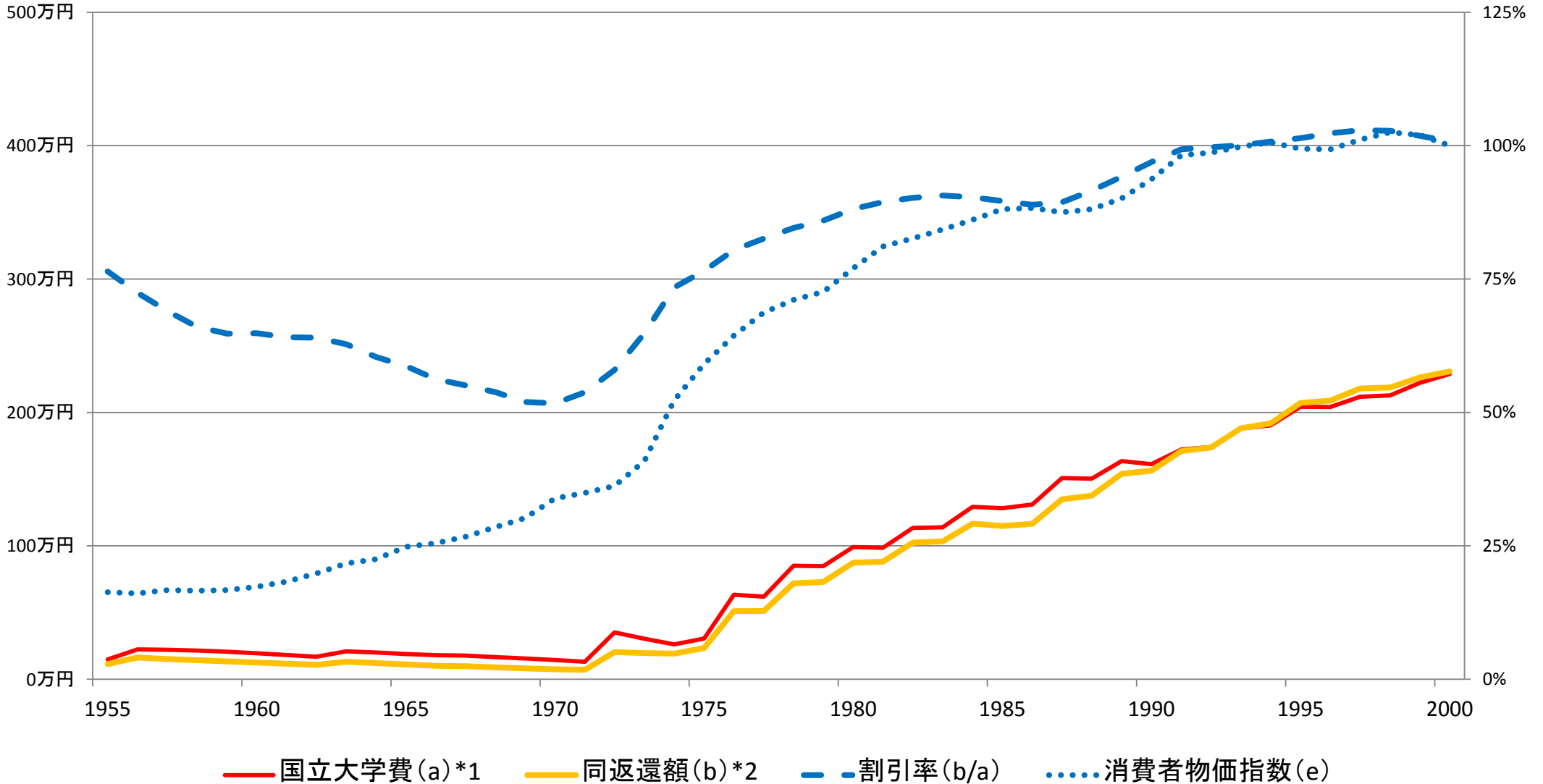


国立大学費(2000年物価換算)と無利子奨学金の効果



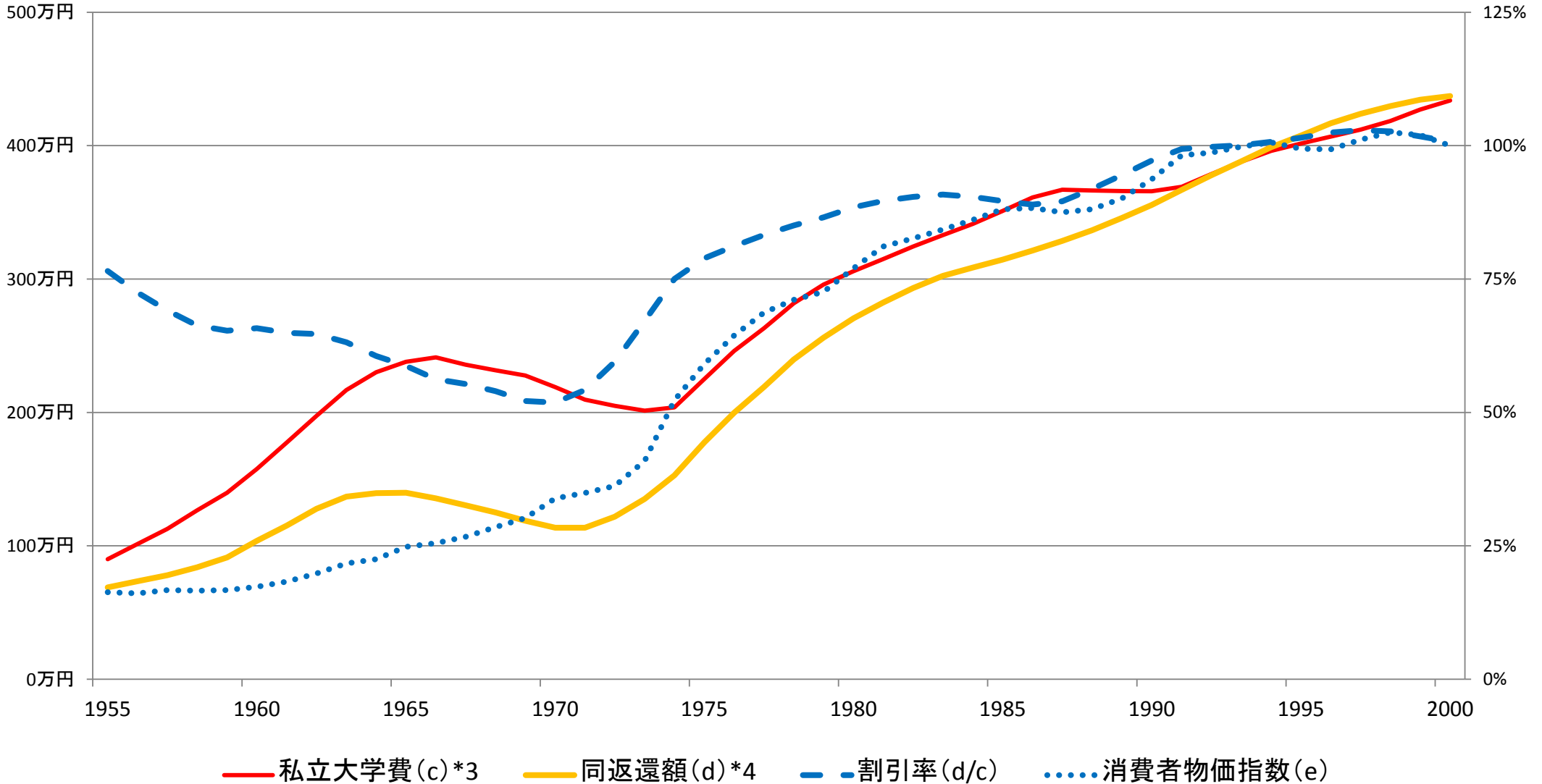
(注)いずれも、大学入学後4年在学して卒業、その後10年かけて均等に返還すると仮定(実際の貸与額・返還方法と異なることに注意)

*1 国立大の入学金を入学年の、また入学年の授業料を入学年~その3年後の物価指数を用いてそれぞれ2000年物価に換算してから、合算したもの。なお、1998年入学者までは現在と違ってスライド制不適用のため、在学中に授業料が値上げされても、入学時の授業料を支払えばよい。(もっとも、最近の国立大学生は在学中に授業料が上がることは知らないのかもしれない)

*2 国立大の入学金+授業料×4年分の額面を10等分し、入学の4年後~13年後までの物価指数を用いてそれぞれ2000年物価に換算してから、合算したもの。

※図中、実線(国立大学費・同返還額)は左目盛、点線(物価指数、割引率)は右目盛。なお、物価指数は食料で2000年を100とする。

私立大学費(2000年物価換算)と無利子奨学金の効果



(注)いずれも、大学入学後4年在学して卒業、その後10年かけて均等に返還すると仮定(実際の貸与額・返還方法と異なることに注意)

*3 私立大の入学金を入学年の、また入学年~その3年後の授業料をその年の物価指数を用いてそれぞれ2000年物価に換算してから、合算したもの。施設設備費は毎年納入するものとして扱い、1974年以前は初年度納付金と授業料しかデータがないため、初年度納付金に占める入学金の割合が1975年に等しいものと仮定した。

*2 私立大の入学金+4年間の各年の授業料の額面を10等分し、入学の4年後~13年後までの物価指数を用いてそれぞれ2000年物価に換算してから、合算したもの。

※図中、実線(私立大学費・同返還額)は左目盛、点線(物価指数、割引率)は右目盛。なお、物価指数は食料で2000年を100とする。